

練馬区立光が丘四季の香小学校

学校だより



< 9 月 号 >

令和3年9月1日

TEL 03-3977-2711

校長 繁田 幸江

第126号

教育目標：自ら考える子・思いやりのある子・たくましい子

HP <http://www.shikinokaori-e.nerima-ky.ed.jp/>

伝え合いつながらる 2 学期に

校長 繁田 幸江

「おはようございます。」久しぶりに登校してきた子供たちの元気な挨拶に心が和みます。今年も、学校プールや地域の夏祭りなど楽しいイベントが自粛された夏休みでした。新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、保護者の皆様は、お子様を登校させることに不安を抱えていらっしゃると思います。四季の香小学校では、これまで以上に感染防止対策を徹底していきます。（詳しくは裏面をご覧ください。）2学期は、運動会・展覧会・四季の香カーニバルなど、子供たちが楽しみにしている学校行事も予定されています。練馬区の方針に基づき、できる限りの対策を考え、工夫して実施する努力をしていきます。

話は変わりますが、東京2020オリンピック・パラリンピックが間もなく閉幕します。今回の東京オリンピック・パラリンピックで感じたことの一つは、伝えることの大切さです。なでしこジャパンの岩渕選手は、SNSを通じて「#arigatou2020」でサポートしてくれた人たちや応援してくれた人たちへの感謝の気持ちを伝えようと各国の選手たちに投げかけました。応えた選手たちの言葉から、自分一人ではこの舞台に立てなかったこと、支えてくれる人応援してくれる人が大切だったことが伝わってきました。一方で、SNSやテレビを通した選手や関係者に対する心無い誹謗中傷や発言もありました。相手の気持ちを考えて伝えることの重要性を痛感しました。

本校でも、この夏休みに、タブレットを活用して先生と子供たちが伝え合う試みがありました。音楽の先生からは、3、4年生に「リコーダーの練習をして、演奏動画を送る」という課題が出ました。子供たちは家でリコーダーの課題曲を練習し、演奏している動画をタブレットで撮影して送ります。先生はその動画を視聴して、指使いやタンギング、リズムやメロディーなどを確認し、「指使いに気を付けましょう。」「練習してまた送ってください。」など個別にコメントを返していました。ある学年では、「夏休みをどんなふうに過ごしていますか」という担任の先生の質問に、「野球の練習を頑張っています。」「自由研究が終わりました。」など子供たちの答えが返っていました。また、学校には、子供たちから先生への暑中見舞いもたくさん届きました。しっかりと書かれた文字や色鉛筆で描かれたイラストなどからは、子供たちの温かい気持ちがじんわりと伝わります。タブレットも手紙も先生と子供をつなぐ架け橋になっていました。

地域の皆様や保護者の皆様とも、学校だよりやホームページなどを通して、伝え合いつながっていききたいと思います。これからも御理解と御協力の程どうぞ宜しくお願いいたします。

～令和3年度 練馬区立光が丘四季の香小学校 体罰根絶に向けてのスローガン～

全校で体罰・暴言〇！児童一人一人の心に響く指導

を宣言します！